キャラクター名
冴墨　景星(さえずみ　けいせい)

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス モルフェウス	ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	16	性別	男
覚醒	犠牲	衝動	解放	初期侵食率	34 %
出自	疎まれた子	経験	平凡への憧れ	邂逅	同行者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	4	1	0			5
精神	0	0	1			1
社会	2	0	0			2

HP	25
行動値	11
(非装備時)	11
戦闘移動	16
全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	5		ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達		
運転：			芸術：			知識：詐欺(金)(推理)(裏切)(法)	1		情報：UGN	5	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ハンドレッドガンズ	射撃	5r+5	-	LV×3+4		Dロイス(錬金術師)によって攻撃力+5
「きらきら星」0%	射撃	9r+5	-	24		侵蝕:4/C値:8/コンセ:モルフェLv3 + カスタマイズLv4
「きらきら星」100%	射撃	13r+5	-	27		侵蝕:4/C値:7/コンセ:モルフェLv4 + カスタマイズLv5
「撃ち抜けほうき星」100%	射撃	13r+5	-	42		侵蝕:8/C値:7/装甲値無視/コンセ:モルフェLv3 + カスタマイズLv5 + クリスタライズLv4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
コネ：UGN幹部	
思い出の一品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
錬金術師	P	N		
行きつけの喫茶店	P　憧憬	N　不安		
同行人	P 好奇心	N　脅威		
利府 彼方(シナリオロイス)	P　友情	N　不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:　4	残り財産P：　1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ハンドレッドガンズ	5	5	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：武器作成。Dロイスにより侵蝕値+2								
コンセントレイト:モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：C値を-LV(下限7)								
カスタマイズ	4	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：判定ダイスを+LV個。								
クリスタライズ	4	4	メジャー	-	-	対決	100%	
効果：攻撃力を[LV×3]、装甲値無視。1シナ3回まで。								
魔弾の悪魔	2	4	オート	至近	自身	自動	ﾘﾐｯﾄ	
効果：対象：ﾊﾝﾄﾞﾚｯﾄﾞｶﾞﾝｽﾞ 射撃判定直後、達成値+10。1ｼﾅLV回								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

【キャラクター簡易説明】
やわらかい口調のマイペースな男子高校生。UGNチルドレンで〇〇支部に所属している。
小さい頃にFHが企てた事件によって家族が亡くなりその後UGNに保護された。
現在はUGNチルドレンとして大切な日常と友達を守るために奔走する。

◆ハンドアウト
シナリオロイス　PC1　(推奨感情　Pなし/Nなし)
推奨ワークス/カヴァー　UGNエージェント・チルドレン/なし

君はUGN〇〇支部に所属するエージェント・チルドレンだ。
PC1は君にとって大切な日常の絆である。病気で入院しているPC1の容体が気になっていたせいだろうか。
PC3と共に向かったFH拠点制圧任務時、君たちはFHエージェントと思われる一人を取り逃がしてしまう。このままにしておくわけにはいかない。

※PC1との関係性は、家族・親戚・恋人・友人など自由。有事に連絡がもらえる程度であること。

【詳細説明】自分用に書いているので読んでも読まなくても大丈夫です
好きなもの:天体観測
嫌いなもの:FH、平穏を乱す輩、小動物(苦手)
綺麗だと思うもの:流れ星、夜空、チェロ(PC1の演奏)

「銃の扱いなら慣れているつもりだよ」